

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

道 徳

富士地区教科用図書採択連絡協議会
富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新編 新しい道徳	1～3年
17 教育出版	中学道徳 とびだそう未来へ	1～3年
38 光村図書出版	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	1～3年
116 日本文教出版	中学道徳 あすを生きる	1～3年
224 Gakken	新版 中学生の道徳 明日への扉	1～3年
232 あかつき教育図書	中学生の道徳	1～3年
233 日本教科書	道徳 中学校	1～3年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 内容は道徳的諸価値を含んだ適切な内容か。
- (2) 教科書の構成は、生徒が広い視野から多面的・多角的に考えることができるように、どのような工夫がされているか。

2 組織・配列・分量

- (1) 生徒が主体的に学習を進めるために、学年に応じた系統性や発展性、教材の配列にどのような工夫がされているか。
- (2) 生徒が広い視野から多面的・多角的に考えることができるように、地域の実情、現代的な様々な課題への対応等を考慮した、多様な教材が活用されているか。

3 生徒の発達段階への配慮

- (1) 生徒の発達段階へ配慮するために、共感や内容把握を促し、深く考えるためにどのような工夫がされているか。
- (2) ユニバーサルデザインの視点から、文字、挿絵、写真等の大きさや色彩は、適切及び鮮明であるか。

別紙様式 2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
233 日科	道徳中学校 生き方から 学ぶ 生き方を 見つめる 生き方を 創造する	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・殺処分や生きづらさ、SNS での誹謗中傷等、現代の問題で生徒も関心のある内容がどの学年にも組み込まれている。 ・テーマごとの扉ページにある 4 コマ漫画は、ねらいとする道徳的価値に迫っていくことができる工夫がされているものもある。 ・時代に合わせてウェルビーイングの内容が豊富である。 ・扉の漫画から始まり、最初は自分自身、次に人とのかかわり、のように、同じ内容について継続的に考えられるような工夫がされている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイングカードがあることで、操作をしながら考えたり話し合ったりすることがしやすい工夫がされているが、切り取りのミシン目があればなお良い。 ・「考えよう」「深めよう」があることで授業を考える手助けとなる。 ・1つの教材が見開き 2 ページとなっているので分かりやすい。 ・レイアウトがシンプルで下方に余白が十分にあるので、文字の多さが気になりにくい工夫がされている。 <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のタイトルが学年ごと違い、周りから自分を見つめ、さらには生き方を考えていく、というように段階的に視野を広めていけるような願いが感じられる。 ・哲学のような内容が各学年に組み込まれており、継続して考えられるような工夫がされている。 ・様々な写真が取り入れられており、生徒の興味を引き、考える手立てとなるが、もう少し画質が良いものだとなお生徒の興味を引くだろう。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成が、「自分・人・社会や集団・自然」とまとまっており、それぞれについて継続して考えることができるつくりとなっている。また、色ごと分かれているのも分かりやすい工夫である。 ・各教材の最後に「考えよう」「深めよう」の発問があるので、話し合いの発問のヒントとなり、授業の展開の手助けとなっている。 ・授業内で考える手助けとしてウェルビーイングカードが付属されており、話し合いのきっかけとなったり、意見の手助けとなったりする工夫がされている。

別紙様式 2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
232 あかつき	中学生の道徳	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定評のある教材だけでなく、スポーツ選手など近年活躍した人物を取り上げ、生徒が親しみをもてる教材が選ばれている。 ・情報モラルを扱っている教材は時事問題をもとに作られている。生徒にとって身近でより自分事として考える助けとなっている。 ・導入、終末で使える動画や教材をより深く理解するための資料動画が二次元コードから視聴でき、活用を通して発展的な活動につながるようよく考えて構成されている。 ・定評のある長文の教材は、途中で漫画を入れる工夫により生徒たちの内容理解を促す方法が、大変有効である。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回ある MY PLUS は、問題解決的な学習の後、体験的な学習をするよう構成されている。生徒が多様な立場に立ち、想像し考えることができる構成が大変特徴的である。 ・ユニット化されたキャリアについての教材は、カリキュラム・マネジメントの点から見て構成が特徴的である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用しており、また、文字サイズも大きめであるため文章がより読みやすくなっている。 <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重といじめ防止を重要視しており、特に1年生でのいじめを考える教材が充実している。 ・2・3年生では「共に生きる社会」をテーマにした教材がユニット化されている。そのため、共生及び社会参画における現代的価値観に触れるよう、発達段階に応じて計画的に設定されている。 ・35時間の1時間目を「道徳 はじまりの時間」とし、各学年で発達段階に応じたテーマが示されており、生徒も教師も見通しをもつことができ、道徳や自分自身について考える時間となっている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・MY PLUS は、日常生活で生きる内容であり、また、前時の教材と連動しているので生徒の道徳的思考がより深まる工夫がある。 ・定評のある教材と新しい教材、生徒の詩、インターネット関係、災害等、資料の内容が豊富で、子供の価値観を揺さぶるような魅力的な教材が、際立って充実している。 ・「自分を見つめて考える」「考えを深める」「自分との対話」の発問例があるので、どの教員にも授業をする際の手助けとなる。

別紙様式2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
224 学研	新版 中学生の道徳 明日への扉	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs・多様性・キャリアがまんべんなく組み込まれているので、現代社会に必要な道徳的価値観に触れることができる。 ・「いのち」について考えることで、いじめを生まないような考え方を育むことができるようなつくりとなっている。 ・「クローズアップ」「深めよう」が所々に設置されているため、教材のあと学びを深めたり、多面的・多角的な視点で考えたりする手助けとなっている。 ・生徒が現代的な問題にも向き合うことができるような内容となっている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名の下にキーフレーズがあるので、どのような内容なのか、どのようなことを考えるのか等、とらえやすくなっている。 ・ページの上（題名下のキーフレーズの下）に関連する学びを示すマークがあるので、カリキュラム・マネジメントにも役に立つ。 ・1つのテーマについて複数の教材で連続して学ぶことができるつくりになっている。 <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が複数いる教材では、下の方に登場人物だけでなく、どのような人物が簡単に書かれているため、内容把握の手助けとなっている。 ・時代に沿って生徒が興味をもって考えることができそうな人物が扱われている。 ・ユニット学習教材が、3年生の後半にはキャリアについての内容を配置するなど学年によって配置を変えている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が濃い教材が多いが、題名下のキーフレーズがあることにより、教材を読む前でも読んだ後でも、生徒が考えるポイントとなる工夫となっている。また、タイトル下のマークがあることで、身の回りの課題につなげて自分事としてとらえることができる工夫がされている。 ・AI やインターネット、SNS など、現代に合った多様な教材を取り入れている。 ・最重点テーマを「いのち」とした編集のため、「いのちの尊さ」をねらいとした教材を1年間で適切な時期に扱うことができる。

別紙様式2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
		116 日文

別紙様式 2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果
		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
38 光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙裏は、各学年の新学期らしいものとなっている。 ・どの学年でも「道徳の学習を始めよう」が1時間に入っているの で、同じように1年間のスタートをし、どのようなことを学ぶのか を意識する工夫がされている。 ・学年に合ったテーマ（話題）が選ばれている。目次にユニットの テーマや道案内があり、いくつか関わり合いながら考えることがで きる工夫がされている。 ・時代の流れに合ったAI や在日外国人、インターネット（情報）等 の話が組み込まれている。また、掲載されている写真も最近のもの になっている。
		<p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が考える時間を十分確保できそうな文章量である。 ・35時間の流れが無理なく並んでいる。 ・二次元コード内に何が入っているのか書いてあるので分かりやす い。 ・郷土資料は題名も見開きもインパクトがある。続けてSDGs 関連の コラムがあるため、地域外にも目を向けて考えることができる。 ・とても丁寧に授業展開が書き込まれているので、価値に迫る授業 を進めるための工夫となっている。
		<p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳で学ぶ 22 のキーワード」がイラスト付きで載っているの で分かりやすい。 ・二次元コードを読み取って流すことができる動画には字幕がつい ているので、生徒が集中して見るための工夫がされている。 ・3年間を通して段階を追って人権について考える工夫があるので、 継続的に学習していくことができる。
		<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でも、前年度や小学校で学んだ内容を意識して考えられ るような工夫がされている。 ・教科書の大きさがB5なので、生徒も教員も扱いやすい。また、目 に優しい色合いとなっている。 ・人権について3年間を通して考えられるよう構成が工夫されてい るので、各学校の人権教育に合わせて学校全体で同じ内容の教材を 同じような時期に扱うことができる。

別紙様式 2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
17 教出	中学道徳 とびだそう 未来へ	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教材の中に、富士宮市内の高等学校の部活動の活動写真が載っているので、生徒にとって身近に感じられる。 ・ 郷土や伝統文化に関する教材には、生徒が思考を深めるためにふさわしい写真が多く使われており、生徒が自分事として考えることができる工夫となっている。 ・ いじめ、いのち、SDGs を全学年で統一した時期に設定しているため、学校全体で合わせて取り組みやすい。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題名の右下にある発問は、テーマを共有したり、対話をしたりするための手立てとなっている。 ・ 「学びの道しるべ」では、どの教材にも3つの発問が提示されているので、指導者が生徒の実態から授業を組み立てる手助けとなる工夫となっている。 ・ 30時間分の教材＋5時間分を補助教材とすることで、生徒や地域の実態に応じて柔軟なカリキュラム構成を編成することができる工夫がされている。 <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの学年の教材も、最初の1時間目分は読みやすく話し合いやすい内容となっている。 ・ 写真やイラストが大きめなので、生徒が話の内容を理解したり状況を把握したりするための工夫がされている。 ・ 各教材に二次元コードがあり、そこに写真や動画のリンクが複数あるため、生徒の実態に応じてどの資料を使うか選ぶことができる。 ・ 中学生にとってあまり身近ではない題材（歌舞伎・女相撲・昇き縄等）には、教科書内に分かりやすい写真やイラストが入っているので、考える手助けとなっている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書き込むページがあったり、役割演技のページがあったりして、対話をするための工夫が複数あり、考え議論する道徳の授業になる手助けとなっている。 ・ 1時間の流れは3年間を通して統一されているため、教員にとって分かりやすい構成となっている。 ・ 写真やイラストが大きめで、話を理解するにふさわしいものとなっている。

別紙様式 2

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
2 東書	新編 新しい道徳	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章からだけでなく、写真からも考えることができるような工夫や、余韻をもって終わらせることができる工夫がされている。 ・漫画の1コマが使われている資料が複数あり、生徒にとってより身近に考えることができるようになっている。 ・偉人ばかりではなく、より身近に考えることができる人物を取り上げている。 ・長く扱われている教材もあるが、時代に合わせた新しい教材も取り入れているので、生徒がより自分事として考えられるような工夫がされている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの観点から、教材に関する他教科の資料を必要に応じて見ることができる。 ・教材で考え、コラムで膨らませることができる工夫がされている。また、自分のことを振り返るためのページとなっている。 ・3学年を通して情報・防災・いじめが同じ時期に組み込まれているので、学校の行事等に合わせて授業を行うことが可能である。 ・付録にSDGsに触れた内容があり、これまでの道徳にプラスして考えることができるようになっている。 <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に心情円があり、授業で活用しやすい。また、二次元コードで読み取ればデジタル心情円も活用可能となっている。 ・生徒が話の内容や状況等を理解しやすいように二次元コードから資料や動画を見ることができるようになっている。 ・行間や文字の大きさ、文章量等、生徒にとってちょうどよい。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が考える上で有効な写真やイラスト・漫画・グラフ等が多数あり、より身近で自分事として考えるための工夫がされている。 ・人権に関するテーマが、全学年同時期に設定されているので、学校全体で進めている場合は使いやすい。 ・デジタルコンテンツが精選されており、活用しやすくなっている。 ・コラムが多数組み込まれているが、多種多様で、話し合ったり体験（役割演技）したりして考えることができる。